

# 令和元年度 第19回政策推進会議報告

日時 2月14日 9時30分～11時45分

場所 4-1会議室

出席者 18人

## 1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

総合政策局長及び資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(教育長) 令和元年度一般会計補正予算(第5号)について、工事の繰り越しの件数が増加している。内容は、学校のブロック塀の工事の不調件数が増えているものである。工事には、財源として国庫補助金が当たっており、既に一度繰り越しを行ったが工事が間に合わず、現在、二度目の繰り越し手続きを行っているが、兵庫県との手続きに苦慮している。実情は、二度、三度と入札手続きをとっても、応札してくれる業者がない状況であり、仮に次年度に繰り越せたとしても、現状と同じやり方では契約出来るか不透明である。こういう、子どもの安心安全に関わる工事等については、不調が続くようであれば、契約手法等についても、不落随契の検討であるとか様々な手法を協議させていただきたい。契約の手法については、今後、相談させていただくので、適宜、アドバイス等をいただきたい。今後も、国庫補助金を有効に活用していきながら、早期にブロック塀の改修工事を完了させるべく取り組んでいきたい。
- ・(市長) 契約を所管する総務局が相談相手となる。  
→相談いただければ、協議していく。

## 2 令和2年度当初予算の概要について

資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 令和2年度予算上での構造改善額は3.3億円であり、過去2年間の取組額が10.4億円であるため、プロジェクト後半での構造改善の取組合計額は13.7億円まできているが、依然として収支不足は解消されていない。この状況は前回の行革プランの時も同じであったが、新たな需要や取組が発生していることが要因で、投資枠も厳しい状況になっている。今後、大きな構造改善額も見込めない中、最近では定数増の傾向が目立っている。後ほど説明がある次年度組織については大幅な組織改編はないが、今一度、定数の見直しが必要な時期にきていると思う。厳しい現況の中、バランスを取りながら進めて行くことが大切であり、令和2年度予算編成については、「攻守バランス予算」のイメージで進めてきたところである。

## 3 令和2年度主要事業等について

総合政策局長から資料に基づき報告。

## 4 令和2年度公営企業局(公営企業会計)主要事業について

公営企業管理者から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・和歌山市で大規模な断水の報道があったが、本市でも同様の断水が起こる可能性はあるのか。
- 和歌山市は、市域が広く水道本管から支管を引いている状況であり、本管部分に不具合が生じると支管にも大きな影響が出て市内に広がった。本市は、都市化が進んでいることから水道本管がループしており、断水しても別の配水管を通じて配水することができる状況である。また、耐震化の取組も進んでいるため、和歌山市と同様の断水が起こる可能性は少ない。

## **5 令和2年4月1日付け組織改正について**

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・学校給食担当が廃止となっているが、所掌事務は教育委員会事務局の中学校給食担当に移管されるということで良いか。
- そうである。
- ・組織数増減比較表で、市長事務部局内の部長級の組織が1つ増えているがこれは何か。
- 昨年10月に、「いくしあ」を設置した時に部長級組織が増加している。この表は昨年4月と令和2年の4月を対比した表となっている。

## **6 第4期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画及び第2期尼崎市子ども・子育て支援事業計画(素案)に対する市民意見公募手続きの実施結果等について**

こども青少年局長から資料に基づき報告。

## **7 その他**

- 健康福祉局長から、新型コロナウイルス感染症の発生状況と本市の対応について説明。
- 危機管理安全局長から、防災ふれあいフェスタ2020について説明。
- 総合政策局長から、鞍山市青少年芸術交流事業について説明。
- 総合政策局長から、A-Lab Exhibition Vol.22「アイデンティティのキキ」について説明。
- 総合政策局長から、尼崎落研選手権スピンオフ企画について説明。
- 消防局長から、中消防署開放デーについて説明。
- 教育次長から、新・歴史博物館の概要と開館日について説明。
- 教育次長から、尼崎城研究資料集成の発行について説明。

以上